

ひまわり通信

SSKS
No.111



令和6年度を迎えて

代表理事 隅 一 清

令和六年も、暖かい正月を迎え、テレビのゆく年くる年の番組でも、雪の少ない映像が映し出されていました。

年寄りには、暖冬は有難いニュースです。

若い頃は、寒さ暑さなど一切気にしない性格だったので、年は取りたくないものです。

世間を騒がせていたコロナも、影を潜めて平穩無事な令和六年の幕開けかと思いきや、元旦から能登半島で大きな地震がありました。私は能登に、千枚田の写真を取りに行ったり、御陣乗太鼓の踊りを見に行ったりと何度も訪れているので思い入れがあります。

朝市も好きで、酒の肴を求めて何度も歩いた記憶があります。

自分の家の畑で採れた野菜や、手作りの漬物売っているおばさんとしゃがみ込んで長話をしたこともあります。

くじけずに、頑張って再起して下さい！と念ずることしか出来ませんが、朝市が一日も早く復活することを祈っています。

当会の移送事業の方は、大きなトラブルもなく順調に推移しています。

高齢者が増えて、移動に車が必要な人も年々多くなっています。

最近流しのタクシーを拾うことが難しいので、電話で予約をしてくる人が多くなりました。当会も発足以来、今年で二十九周年を迎えます。来年、令和七年には発足三十周年になります。節目の年なので、記念式典や記念誌の発行も考えています。

当会設立者の水間喜美子さんが、普通のライトバンに外国から取り寄せた一〇〇万円もするリフトを付けて福祉車両を作り、ひまわりの会に参加する障害のある人を移送していたのがヒューマンハーバー世田谷の始まりです。当時は東京都から年間六百万円の助成金をもらっていました。

専属ドライバーには三十万円の給料と年二回五十万円のボーナスを払っていました。東京都が財政難になって、助成金が区に移



行われて支給額も移送人数によるトリップ制になり、大幅に減額されました。福祉有償移送事業は、助成金がなければ一日も活動できないので、区は頑張って助成を続けて欲しいと思っています。この三月で令和五年度の事業もすべて終わり、四月から令和六年度になります。新年度の事業計画に沿って今年も楽しい旅行や書道教室、絵手紙の会、俳句の会、食事会などのひまわり事業を行っていきたいと思っています。

是非、ご参加下さい。

令和六年度行事予定

◎四月 日帰りバス旅行

○日時 四月二十一日(日)九時出発
 ○行先 鎌倉
 ○参加費 一人九千円
 (別途個別移送料)

◎六月 第十九回 通常総会

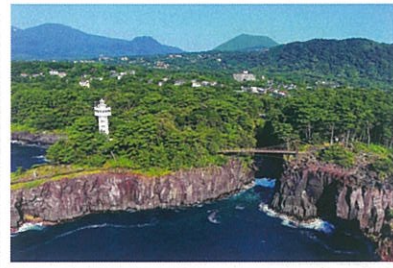
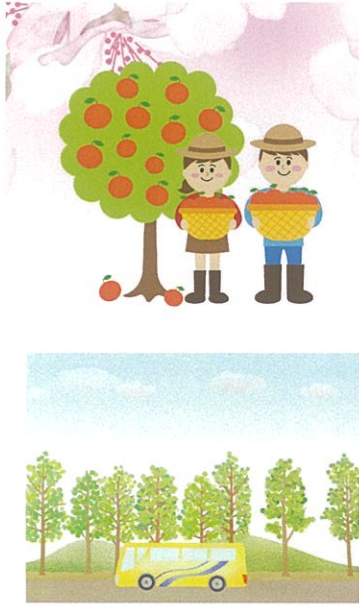
○日時 六月十六日(日)十一時から
 ○会場 うめとびあ

◎八月 暑気払い会

○日時 八月十八日(日)
 ○場所 未定

◎十月 一泊二日研修旅行

○日時 十九〜二十日
 ○場所 伊豆潮風館(予定)



◎十一月 日帰りバス旅行

○日時 十一月十七日(日)
 ○行先 未定

※区のバス利用

◎十二月 みかん狩り(未定)

ふれあいフェスタ展

◎一月 新年会

○日時 一月十九日(日)
 ○場所 未定

◎二月 日帰りバス旅行

※区のバス利用

ひまわり句会

大谷のり子 選

桃刺くと指に香のいつまでも
 柿食べてつくづく秋と思ひひり
 足止めてしばらくながめ寒椿
 十字架は心の支へクリスマス
 少しだけ蓬を摘みて野川かな

羽山 貴子

初時雨湯をもて顔を洗ひけり
 ニット帽目深に橋の向うまで
 ジム帰り大芋芋を横に見て
 年用意まづびと鉢の花買つて
 骨董市猫のうろつく初天神

大谷 のり子

独り居の豚饅頭や冬隣
 弟の十三回忌菊日和
 身の回り出来る幸せ冬日和
 冬ぬくし心の自由我が宝
 犬にやる七面鳥の骨クリスマス

亀井 歌子

人住まぬ家となりたる夏蜜柑
 年の瀬の瘦せたる腕の時計かな
 襟と御幣の白さ年新た
 里山に七草探す水の音
 朝まだき木蓮の白輝きぬ

馬場 保花

星月夜自分の陰を追ひかけて
 祐天寺の鐘の音釣瓶落しかな
 ビル風や目黒で作る吊し柿
 孫と寝て何度もけられ冬の朝
 千両の千の実赤く人の家

藤田 勝美

行事報告

◎みかん狩り

十二月十四日(木)

今年も小田原、早川のみかん狩りに行くことになりました。

前日になって、私が体調を崩して二年連続で参加出来なくなりました。

九時に野沢を出発して、早川に直行し今年も鈴木さんご夫婦にお世話になり、みかん狩りを楽しんでから、小田原の鈴廣かまぼこが経営する食事処で昼食を頂きました。

参加出来なかった私の事務所にも、箱一杯のみかんが届けられました。

みかん狩りは、一本の木で五〇〜六〇キロのみかんを取るの、若い人が居ないと取るのも一苦労です。

急な斜面なので、車イスが入る事は出来ないの、五体満足な人手が必要になります。

今年が最後になるかもしれませんね…。

参加者二十三名



◎区民ふれあいフェスタ展

十一月二十一日〜十二月三日

今年も昨年と同様に『うめとぴあ』で作品展が開かれました。

会員の皆様が、書道、俳句、絵手紙など、普段習っている中から出展しています。

書道は、ヒューマンハーバー発足同時からお世話になっている加藤衛先生です。

俳句は、私の友人で俳人の菅野先生の秘蔵つ子、大谷のり子先生が担当してくれています。

絵手紙は御代川先生が親切に指導してくれています。



◎世田谷区障害者週間記念式典

区長表彰

令和五年にヒューマンハーバー世田谷発足して以来、三十年近くにわたって、理事長をしている隅氏に、世田谷区長から表彰状を頂きました。

これからも、体調管理をして頑張ってくださいと思います。



◎新年会

一月二十一日(日)

恒例の新年会が、今年も事務所前の中華レストラン『華空間』で行われました。

例年ですと、ゲストの芸人を呼んだりしたのですが、今年は日にちが合わず誰も居ないので、ビンゴ大会をしました。

私は、スムーズに数字が揃って、一番にビンゴになり焼酎をゲットしました。

来賓では、いつも必ず出席していただけた区議会議員の板井ひとし先生が来られました。美味しい料理と楽しい話しに、アツという間にお開きになりました。

今年もひまわりの集いで、楽しい旅行や行事を企画していますので、ぜひご参加下さい。

参加者 十九名



◎三月都内巡りの旅

三月十日(日)

目黒で生まれて、小学校に入るので世田谷に越して来て八十年近くになりますが、スカイツリーには昇った事がないので、今回企画しました。朝九時に予定通り、栄楽観光のバスで野沢を出発して都内を抜けてスカイツリーへ直行しました。

真下に来ると太い鉄の筒が土台になって組み立ててありました。

エレベーターで展望台に上りましたが、眼下に並ぶ街は豆粒ほどで、遠くに雪をかぶった富士山も見えました。

スカイツリーを下りて、皇居外苑の楠公レストハウスで、昼食を頂きました。三段のお重で、こじやれた料理でしたが皆様が良かったですか？食後は、新しく出来た豊洲の千客万来を散策して帰路に着きました。

参加者三十四名



行事予定

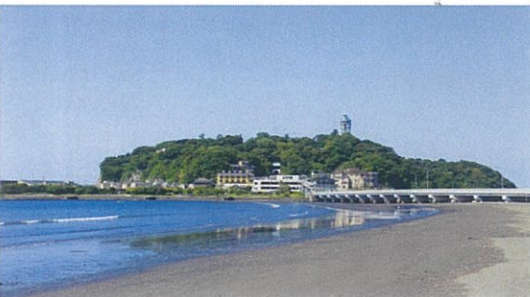
◎四月日帰りバス旅行

鎌倉大仏見学

四月二十一日(日)

例年は、春四月と言えば花見が定番でしたが、今年は少し目先を変えて鎌倉から江の島へ行ってみたいと思います。

- ・日時 四月二十一日(日) 九時野沢出発
- ・行程 野沢〜第三京浜〜大船フラワーセンター(見学)〜大仏(昼食・見学)〜江の島(見学)〜第三京浜〜港北SA〜野沢
- ・会費 一人 九千円(個別移送料千円)



編集後記

三月十八日から、また一週間大腸ポリープを取るために東京医療センターに入院してきました。朝からポリ袋一杯に入っている下剤を飲み続け、トイレとベッドの往復を繰り返して、看護師さんのOKが出てやっと手術が始まります。

「もう九十歳になるので、やらなくても良いのでは？」と先生に言ったら、「今や人生一〇〇年代なので、やりましょう！」と言われてしまいました。ゲスの勘繰りをすれば、向こうにとっては大事なお客様なので…。

世間では、連日桜の開花予想が流れていますが、今年は三月に入ってから寒い日が続いて例年から比べると、大幅に遅れるとので四月上旬になりそうです。

地球温暖化になる前は、入学式の記念写真は、校庭の桜の木の下でと、決まっていたが、ここ最近は桜が三月下旬に咲いてしまいうので、入学式は葉桜になっていました。

暖かいのは、年寄りには有難いです。(S記)

「ひまわり通信」111号

2024年4月19日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住居 隅一清

〒202-0102 世田谷区野沢3-4-18

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

〒202-0102 世田谷区砧6-26-21 (定価100円)